



# 2023年3月期 第2四半期決算補足説明資料

株式会社インターネットインフィニティ

<証券コード : 6545>



## ■ 2023年3月期 第2四半期業績

### レコードブック事業

- ✓ 新規出店を継続し、総店舗数は前年同期比で増加
- ✓ 利用者数は、当第2四半期において、新型コロナウイルス感染第7波の影響により8月にかけて回復傾向が鈍化し、9月には回復基調に戻るも、先行き不透明な状況が継続

### 在宅サービス事業

- ✓ 当期首の会社分割により、在宅サービス事業等を連結子会社のカンケイ舎に承継しそれに伴い独自施策等を推進
- ✓ 利用者数は、変異株感染拡大の影響を受けた通所介護を中心としてやや減少

### 全体に関わる事項

- ✓ アフターコロナを見据え、M&Aやスタートアップへの投資を含めた構造改革を進行中
- ✓ 通常の事業活動の再開やそれに伴う賞与水準見直し、DX推進に向けたIT投資、各事業における将来投資等に伴い全体的に費用が増加し、前年同期比で営業利益は減少

## ■ 2023年3月期 通期見込

- ✓ 直近の業績推移に加え、下期のM&Aによる売上高・利益の増加見通し等を考慮し、5月13日公表の通期業績予想を据え置き

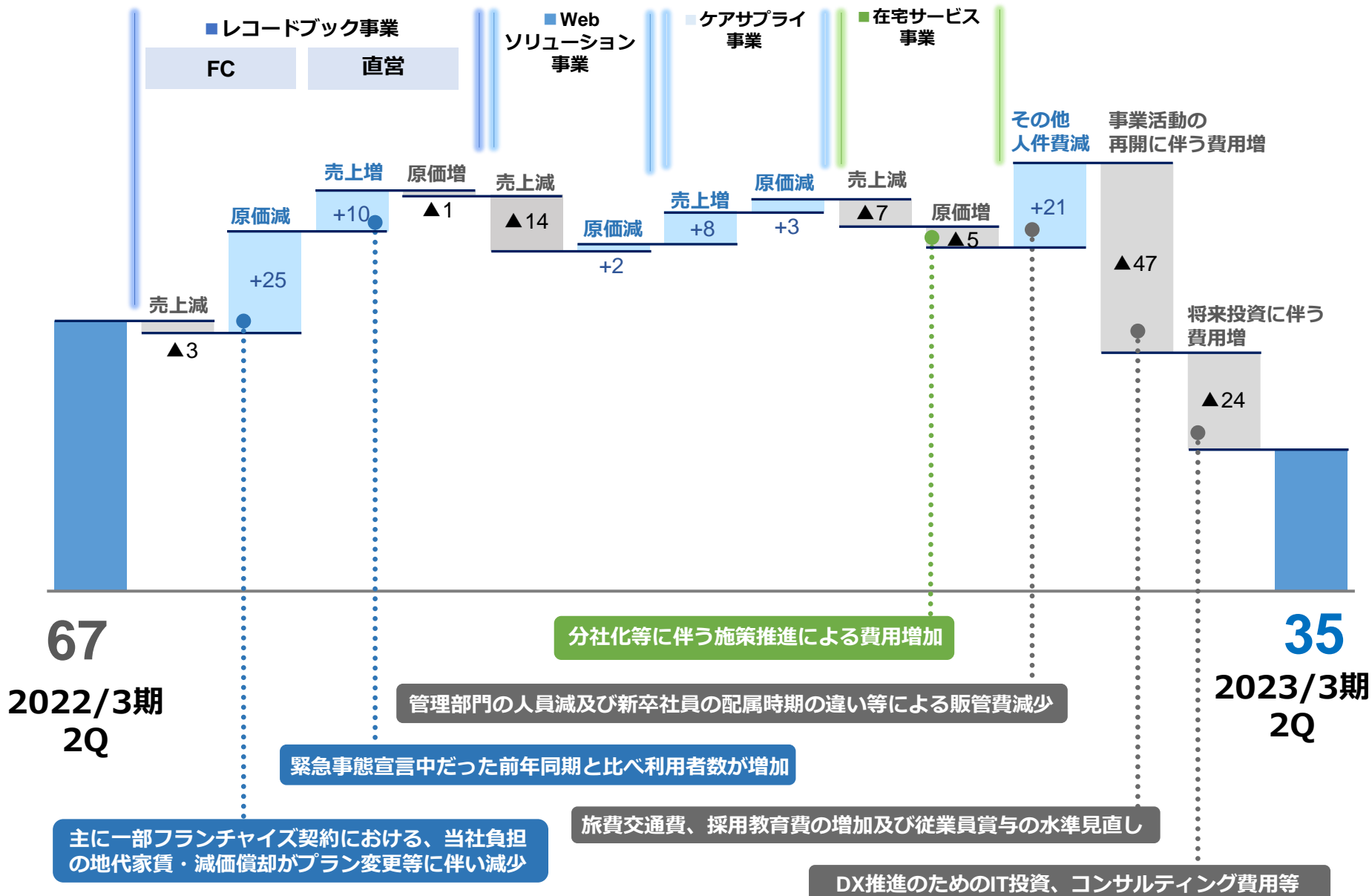
# 2023年3月期 第2四半期業績

単位：百万円 ( )内は利益率	2022/3期 2Q 実績	2023/3期 2Q 実績	増減率	
売上高	2,090	<b>2,083</b>	▲0.3%	Web▲14、在宅サービス▲7、 ケアサプライ+7、レコードブック+6
営業利益	67 (3.2%)	<b>35</b> (1.7%)	▲47.5%	在宅サービス▲54、Web▲11、ケアサプ ライ▲2、本社+27、レコードブック+9
経常利益	162 (7.8%)	<b>53</b> (2.5%)	▲67.4%	【営業外収益の減少理由】 助成金等収入▲65
親会社株主に帰属する 四半期純利益	106 (5.1%)	<b>27</b> (1.3%)	▲74.7%	【特別損失の増加理由】 減損損失+7
R O E (%) ※	19.6	<b>4.3</b>		
E P S (円)	19	<b>5</b>		

※ 2022/3のROEは、連結初年度のため期末自己資本に基づき算定。四半期のROEは年率換算しております

# 営業利益増減分析

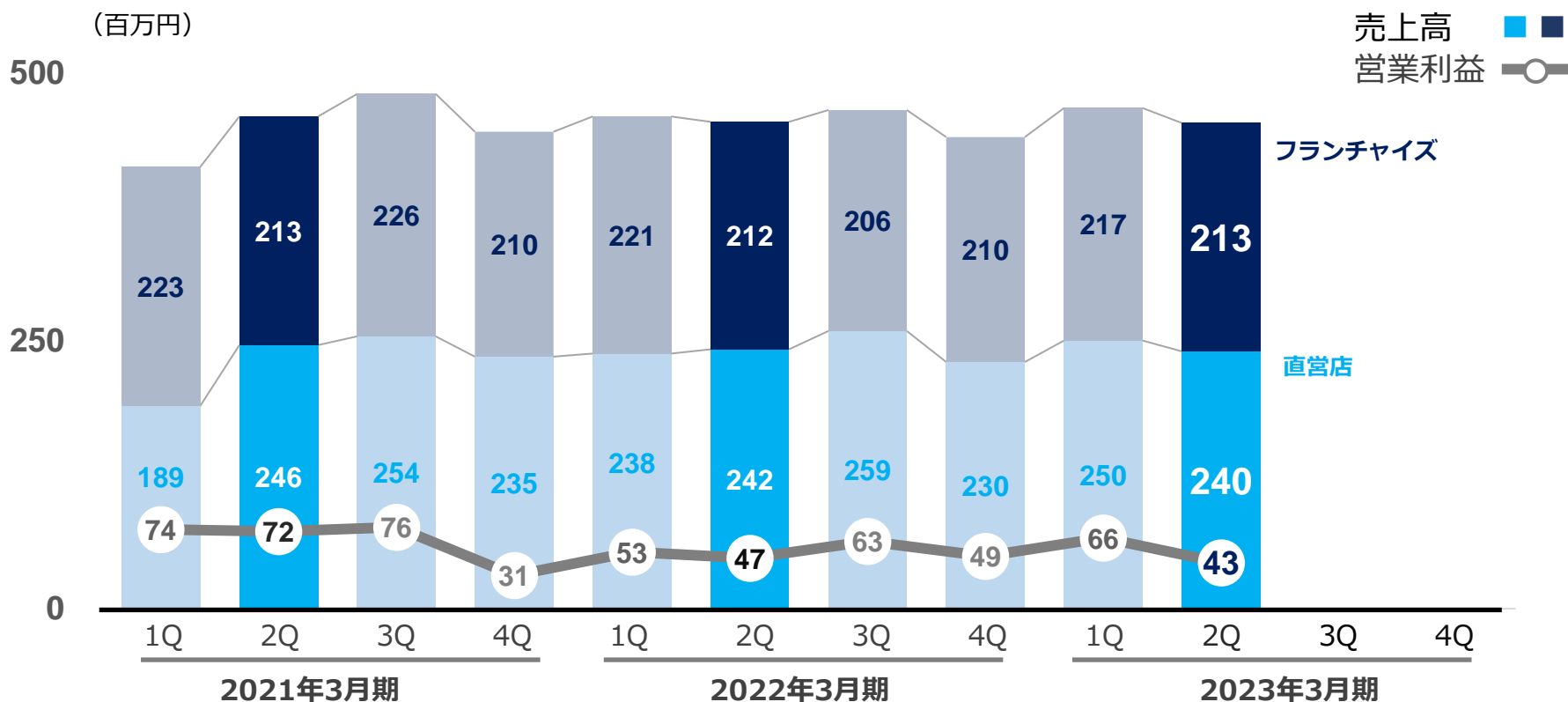
単位：百万円



2023年3月期 第2四半期 セグメント別業績

(単位：百万円)	2022/3期 2Q			2023/3期 2Q			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
<b>■ヘルスケアソリューション事業</b>	1,444	69.1%	160	<b>1,445</b>	<b>69.4%</b>	<b>156</b>	+0	▲4
<b>レコードブック</b>	914	43.8%	100	<b>920</b>	<b>44.2%</b>	<b>109</b>	+6	+9
直営店	480	23.0%	26	<b>490</b>	<b>23.5%</b>	<b>30</b>	+9	+4
FC店	433	20.8%	74	<b>430</b>	<b>20.7%</b>	<b>79</b>	▲3	+4
<b>Webソリューション</b>	117	5.6%	25	<b>103</b>	<b>5.0%</b>	<b>14</b>	▲14	▲11
シルバーマーケティング	48	2.3%		<b>34</b>	<b>1.7%</b>		▲13	
仕事と介護の両立支援	65	3.1%		<b>63</b>	<b>3.0%</b>		▲2	
メディカル	4	0.2%		<b>5</b>	<b>0.3%</b>		+1	
<b>ケアサプライ</b>	412	19.7%	34	<b>420</b>	<b>20.2%</b>	<b>31</b>	+7	▲2
<b>■在宅サービス事業</b>	645	30.9%	198	<b>638</b>	<b>30.6%</b>	<b>143</b>	▲7	▲54
通所介護	231	11.1%	70	<b>214</b>	<b>10.3%</b>	<b>40</b>	▲17	▲30
訪問介護	257	12.3%	94	<b>248</b>	<b>11.9%</b>	<b>66</b>	▲8	▲28
居宅介護支援	156	7.5%	33	<b>174</b>	<b>8.4%</b>	<b>37</b>	+18	+3
<b>調整額</b>	—	—	▲291	—	—	▲264	—	+27
<b>合計</b>	2,090	100%	67	<b>2,083</b>	<b>100%</b>	<b>35</b>	▲6	▲31

売上高 920百万円（前年同期比+0.7%） 営業利益 109百万円（同+9.0%）

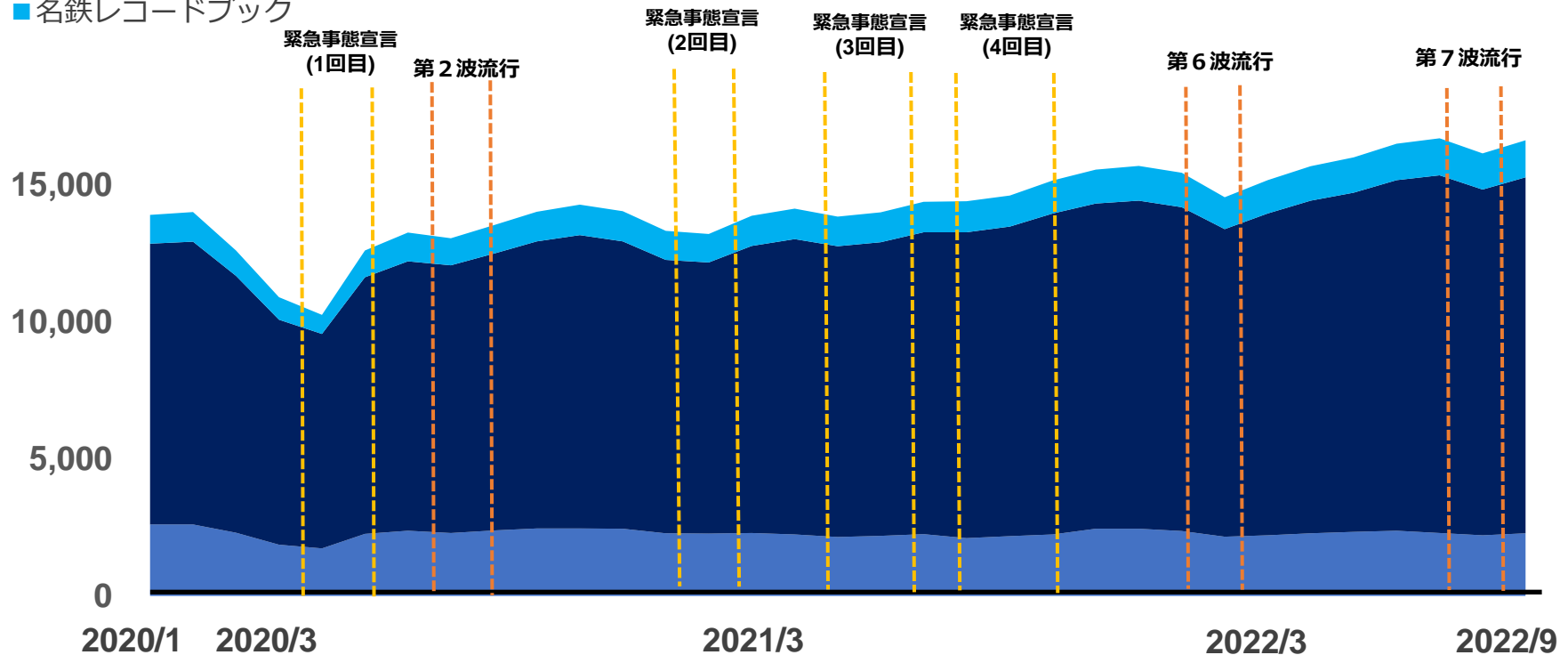


### ■ 新型コロナ感染拡大の波の影響を受けるも、全体の売上高、営業利益は増加

- ✓ 第2四半期は7月末～8月にかけての新型コロナ感染第7波により、複数店舗で一時休業などの影響を受け、これまでの回復傾向が鈍化。9月に入り、一時利用を控えられていた方に対して利用再開を呼びかけた結果、第2四半期末では再び回復基調に。
- ✓ フランチャイズは店舗数、利用者数の増加に伴いロイヤルティ等収入の増加傾向が続く

## 利用者数（人）

- 直営店
- フランチャイズ
- 名鉄レコードブック



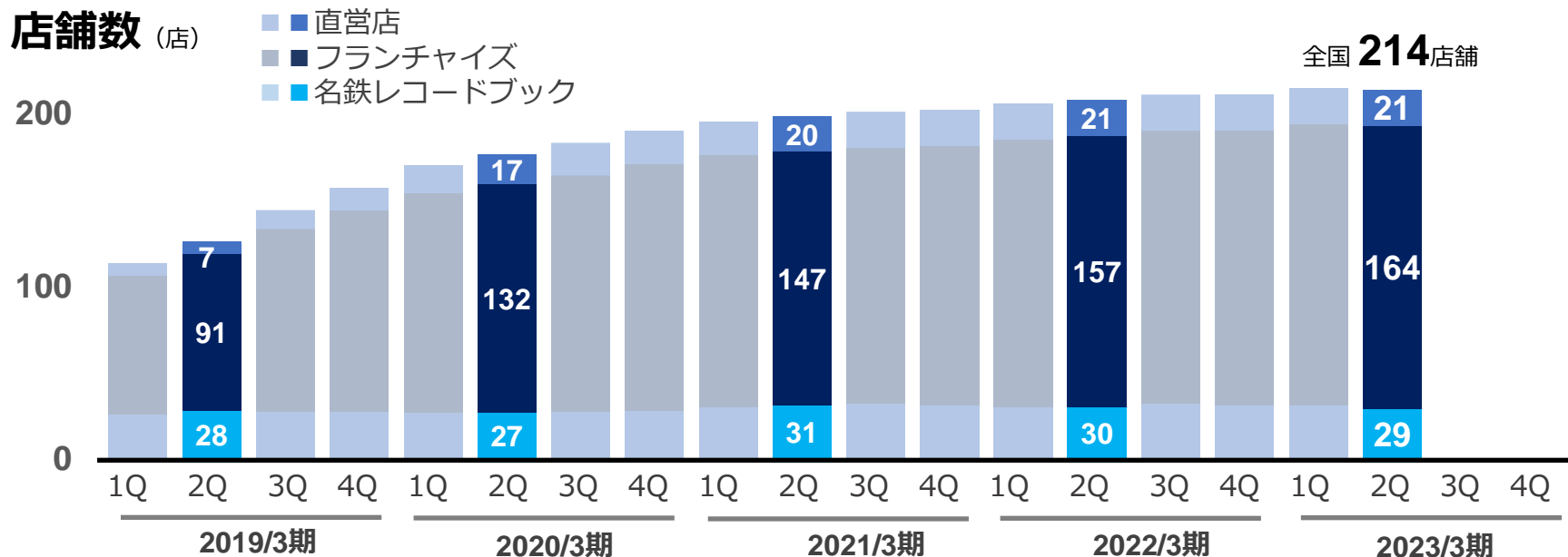
※緊急事態宣言は東京都へ発出された期間を反映

### ■ 感染拡大の波の影響を受けながらも、店舗数増加に伴い利用者数は増加傾向

- ✓ コロナ禍以降、各種制限措置の段階的な緩和や、健康二次被害を予防するための対策として高齢者の運動習慣の重要性への理解が浸透した結果、利用者数は増加基調で推移
- ✓ 直近の7月～8月にかけては感染第7波の影響を受け減少するも、9月にはそれ以前の人数まで回復



# レコードブック事業 – 新型コロナウイルス感染拡大の影響（店舗数）



新規	10	13	19	13	13	8	9	8	9	3	4	2	4	3	3	0	5	3		
閉店	0	0	1	0	0	2	2	1	4	0	1	1	0	1	0	0	1	4		
店舗計	113	126	144	157	170	176	183	190	195	198	201	202	206	208	211	211	215	214		
FC化	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1		
直営化	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	2	2	0	0	1		

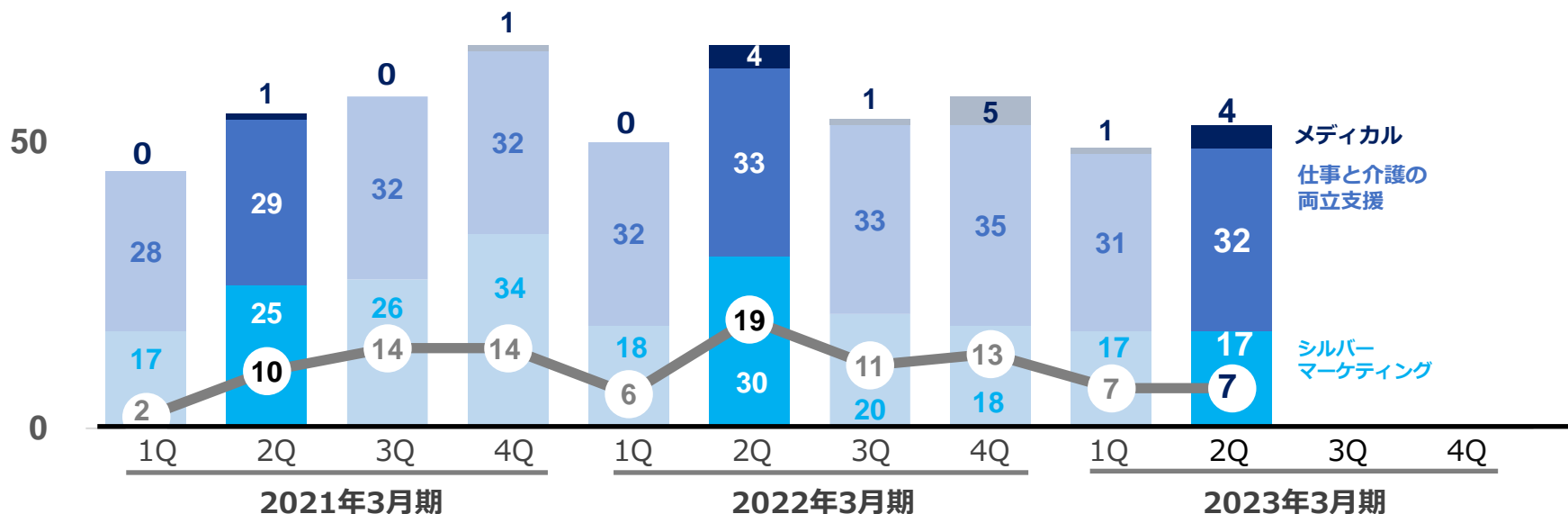
## ■ コロナ禍においても融資環境の改善により一定の新規出店を継続

- ✓ 下期の出店数は前期比で増加し、年間の総出店数も前期を上回る
- ✓ 下期から翌期にかけて出店を再加速させるため、既存加盟店に対する増店施策をさらに強化

売上高 103百万円（前年同期比▲11.9%） 営業利益 14百万円（同▲43.7%）

(百万円)

売上高 ■■■  
営業利益 ○—



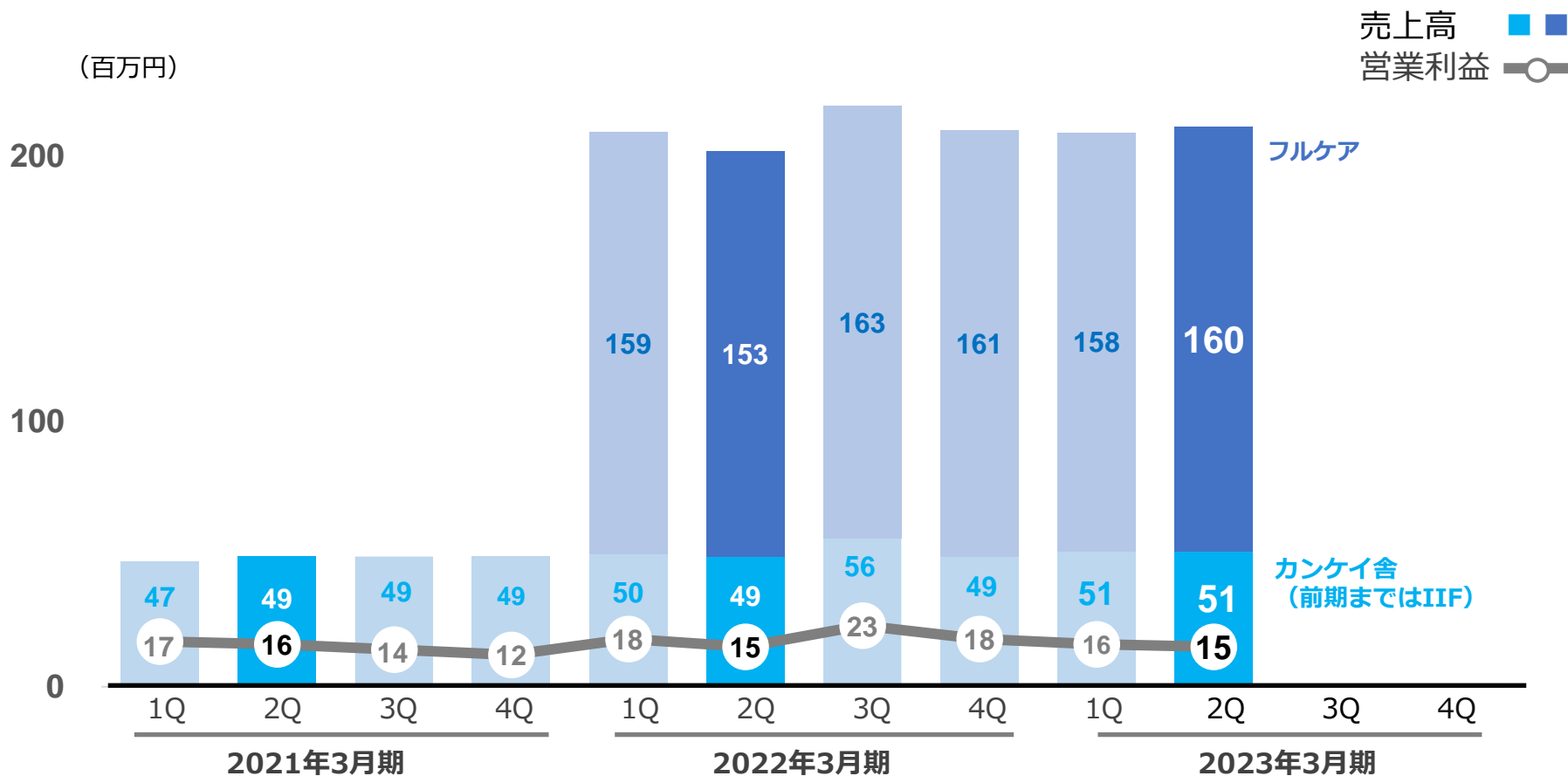
## ■ メディカルソリューション分野の営業強化を推進

- ✓ 当期はメディカルソリューション分野での営業活動を強化。当四半期においても複数案件の新規案件を獲得
- ✓ 仕事と介護の両立支援では、2022年10月より新サービス『わかるかいごBizクラウド』の提供を開始。クラウド上で管理できるため、操作性、利便性、安全性が大幅に向上

当四半期までのわかるかいごbiz サービス開始企業 **コーンズグループ会社**

売上高 420百万円（前年同期比+1.9%）

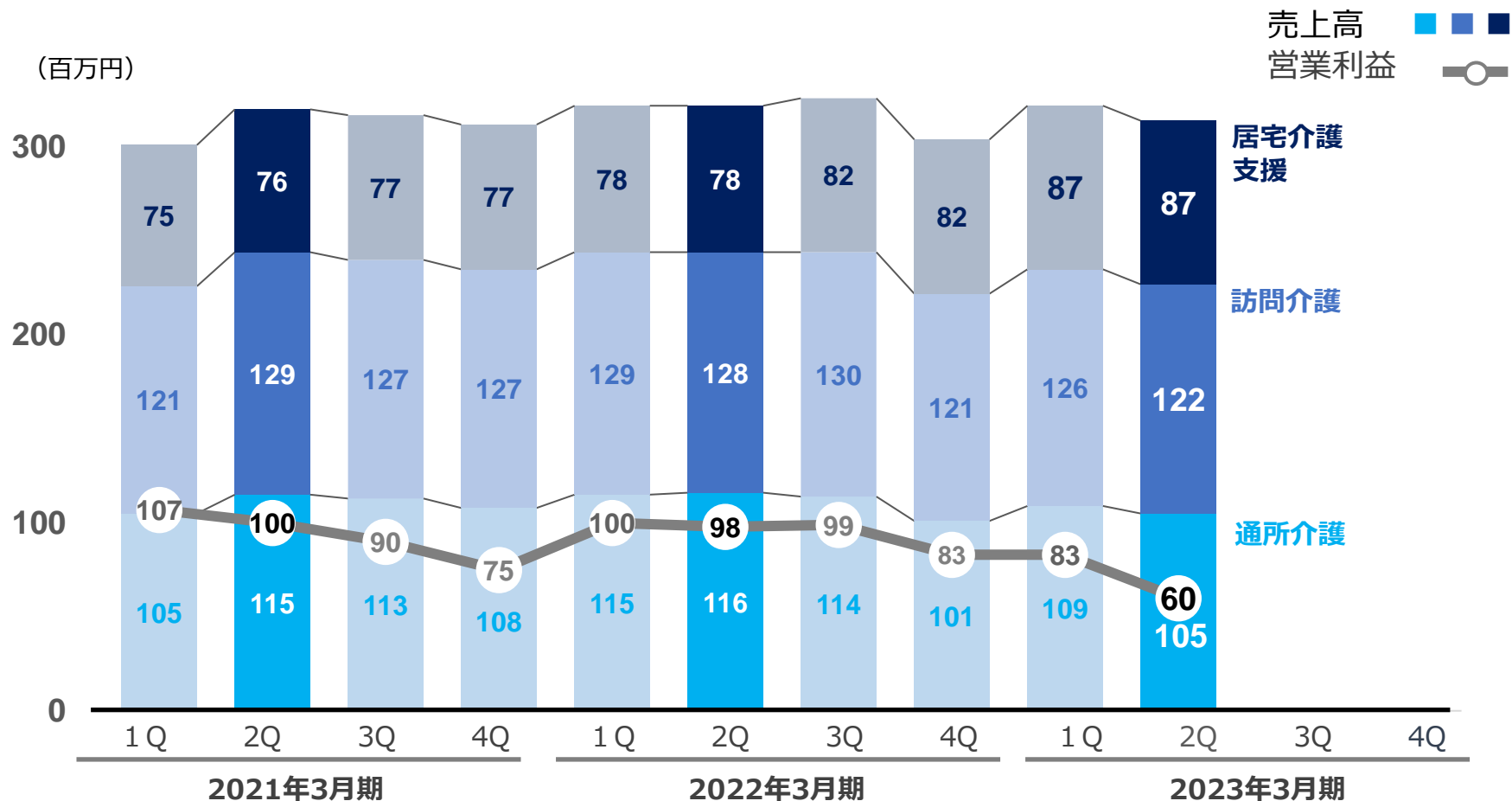
営業利益 31百万円（同▲6.1%）



### ■ 連結子会社のカンケイ舎・フルケアがともに専門性を活かし事業を推進

- ✓ 当期首の分社化に伴い連結子会社のカンケイ舎が事業を承継。前期子会社化したフルケアとともに、グループ間で一層ノウハウの共有などを進め、長期安定的な収益基盤として成長へ

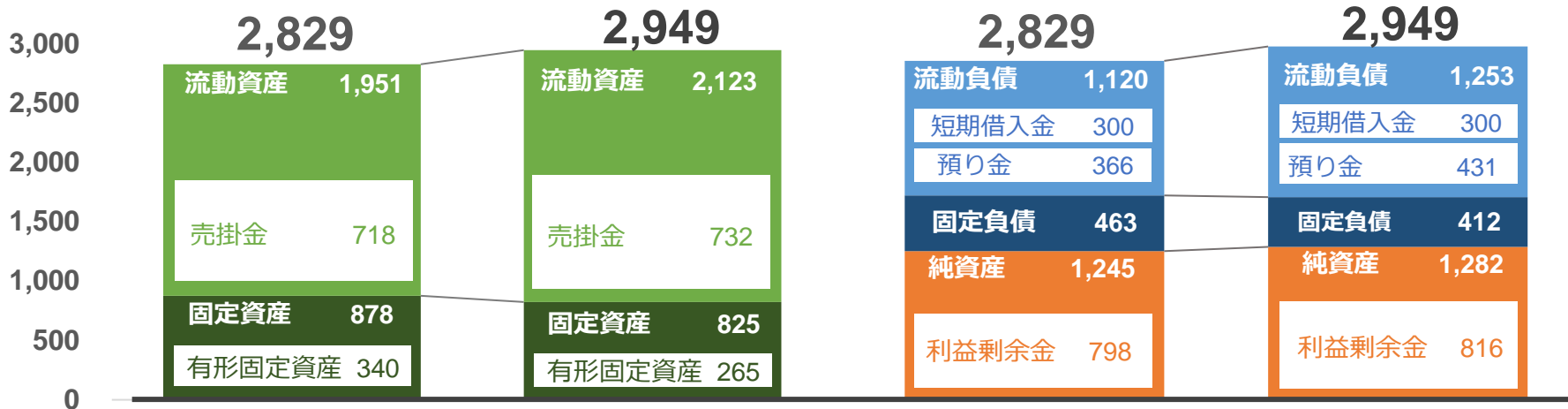
売上高 638百万円（前年同期比▲1.1%） 営業利益 143百万円（同▲27.6%）



■ 当期首に連結子会社カンケイ舎に事業を承継し、更なる成長を目指す

- ✓ 通所介護では、新型コロナウイルス感染第7波により8月に一部店舗が休業するなどの影響を受け、売上高は前年同期比で微減に
- ✓ 分社化に伴う独自施策等の推進により費用面がやや増加し、営業利益が減少

2023年3月期 第2四半期 連結貸借対照表



(単位：百万円) 2022/3期

2023/3期2Q

	2022/3期	2023/3期2Q	増減額
<b>流動資産</b>	<b>1,951</b>	<b>2,123</b>	<b>+172</b>
現金・預金	1,130	1,282	+152
売掛金	718	732	+14
その他	102	108	+6
<b>固定資産</b>	<b>878</b>	<b>825</b>	<b>▲53</b>
有形固定資産	340	265	▲75 <sup>①</sup>
無形固定資産	240	232	▲8
投資その他資産	297	327	+30
<b>資産合計</b>	<b>2,829</b>	<b>2,949</b>	<b>+120</b>

① 主に当社所有フランチャイズ店舗建物等の資産の償却及び契約年数経過に伴う所有権移転のため減少

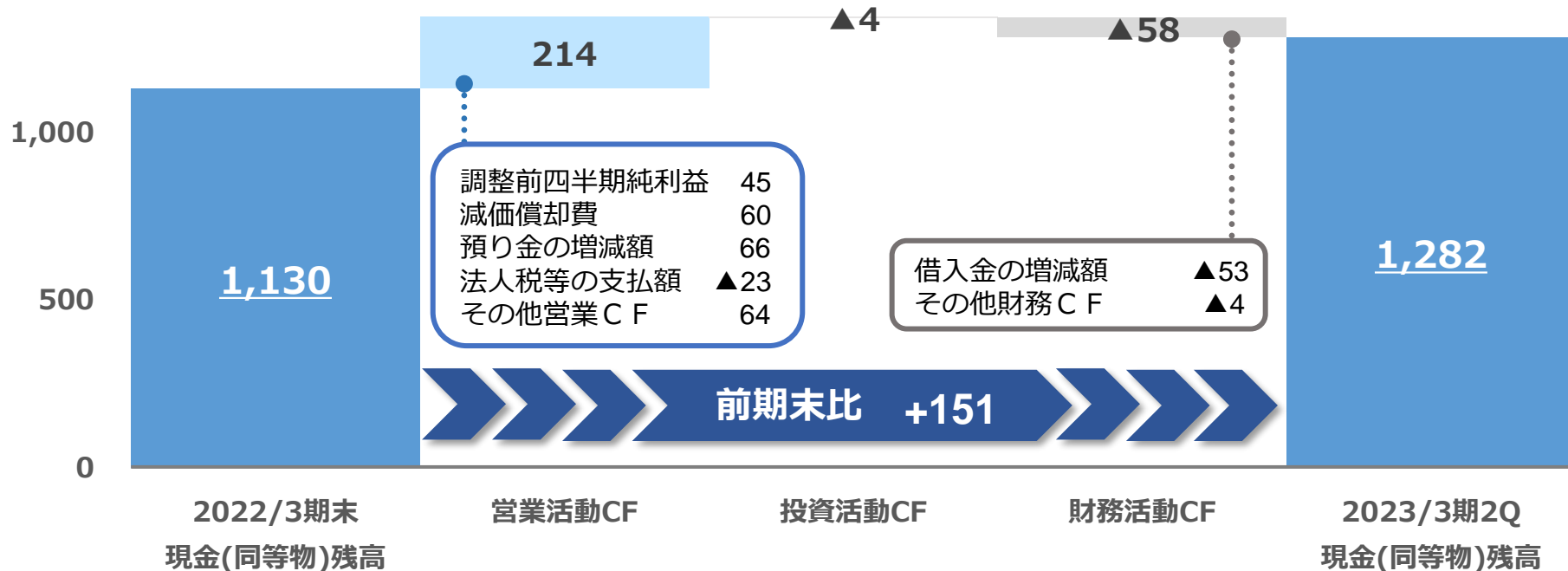
② 主にレコードブックの利用者数回復に伴い増加

2022/3期

2023/3期2Q

	2022/3期	2023/3期2Q	増減額
<b>流動負債</b>	<b>1,120</b>	<b>1,253</b>	<b>+133</b>
短期借入金	300	300	—
預り金	366	431	+65 <sup>②</sup>
その他	453	521	+68
<b>固定負債</b>	<b>463</b>	<b>412</b>	<b>▲51</b>
長期借入金	343	294	▲49
その他	119	118	▲1
<b>純資産合計</b>	<b>1,245</b>	<b>1,282</b>	<b>+37</b>
資本金	252	252	—
資本剰余金	237	237	—
利益剰余金	798	816	+18
自己株式	▲42	▲23	+19
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,829</b>	<b>2,949</b>	<b>+120</b>

(単位：百万円)



	2022/3期 2 Q	2023/3期 2 Q	前期比 (増減額)
営業活動 C F	118	214	+96
投資活動 C F	▲245	▲4	+241
財務活動 C F	54	▲58	▲113
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲71	151	+222
現金及び現金同等物の期首残高	845	1,130	+285
現金及び現金同等物の期末残高	773	1,282	+508

トピックス

健康寿命延伸社会の実現を目指して

事業領域拡大に向けた足掛かりとして、当期2件のM&Aを実施

	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業
買い手	株式会社インターネットインフィニティー (当社)	株式会社カンケイ舎 (当社100%子会社) 居宅介護支援事業、訪問介護事業、 通所介護事業、福祉用具貸与・販売事業
対象企業	<b>株式会社正光技建</b> 住宅リフォーム工事の 設計・施工、新築工事	<b>株式会社合の家</b> 住宅型有料老人ホーム 「フルール・ガーデン市原」 「フルール・ガーデン相模原」
形態	株式譲渡による完全子会社化 (2022年10月1日)	上記2事業所の事業譲受け (2022年12月1日予定)
狙い	介護保険外の領域への 事業ポートフォリオ分散	中重度介護者向け領域の事業強化
シナジー	広島県にて顧客の7割以上がシニア世代とい う顧客基盤を有しており、子会社である株 式会社フルケア（福祉用具貸与・住宅リ フォーム事業を中国地方で展開）との営業 ノウハウや顧客基盤の共有等によるサービ ス品質向上、収益力強化を見込む	カンケイ舎が運営する事業所と比較的近距 離に立地する環境を活かし、中重度向け施 設運営のノウハウ取得・横展開や、カンケ イ舎既存事業のノウハウの共有等による相 互作用で収益拡大を見込む



# 2023年3月期 通期業績見通し

直近の業績推移に加え、下期のM&Aによる売上高・利益の増加見通し等を考慮し

5月13日公表の通期業績予想を据え置き

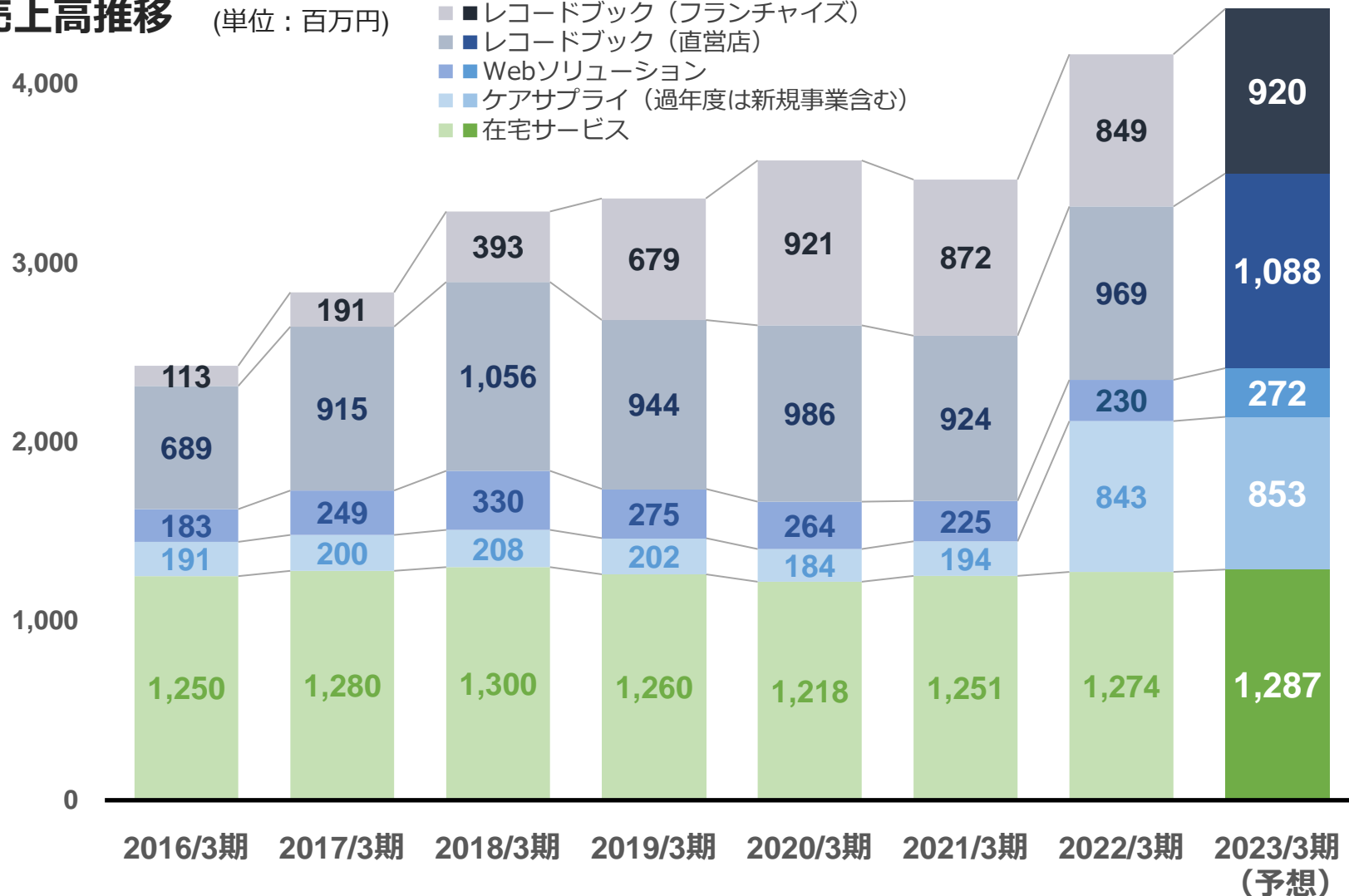
単位：百万円 ( )内は利益率	2022/3期 通期実績	2023/3期 通期予想	前期比 増減率	
売上高	4,168	4,421	+6.1%	レコードブック+189、Web+41、 ケアサプライ+9、在宅サービス+13
営業利益	156 (3.7%)	315 (7.1%)	+102.4%	レコードブック+159、Web+39、 ケアサプライ+21、在宅サービス▲32、 本社▲28
経常利益	289 (6.9%)	313 (7.1%)	+8.2%	【営業外収益の減少理由】 助成金収入（雇用調整助成金、経費助成 金等）▲109
親会社株主に帰属する 当期純利益	186 (4.5%)	203 (4.6%)	+9.4%	
R O E ( % )	15.0	15.1		
E P S ( 円 )	34	37		

通期見通しは感染拡大の波を考慮せず、利用者数等の増減に影響を受けない前提のもと算出

### 売上高推移

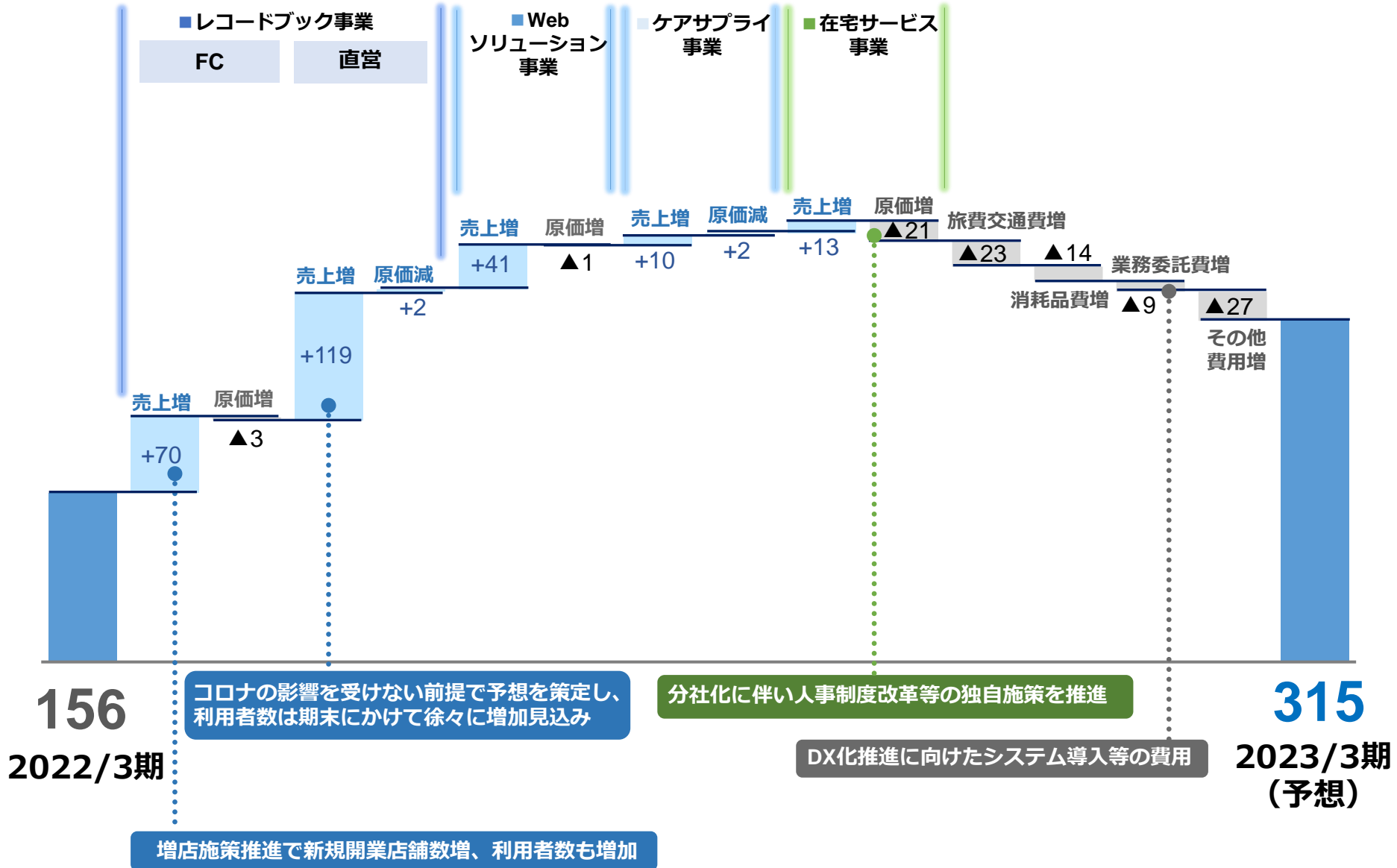
（単位：百万円）

- レコードブック（フランチャイズ）
- レコードブック（直営店）
- Webソリューション
- ケアサプライ（過年度は新規事業含む）
- 在宅サービス



# 営業利益見通し増減分析 (2022年5月13日公表)

単位：百万円



2023年3月期 セグメント別業績見通し (2022年5月13日公表)

(単位：百万円)	2022/3期			2023/3期 (予想)			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
<b>■ヘルスケアソリューション事業</b>	2,893	69.4%	338	<b>3,133</b>	<b>70.9%</b>	<b>559</b>	+240	+220
<b>レコードブック</b>	1,819	43.7%	212	<b>2,008</b>	<b>45.4%</b>	<b>369</b>	+189	+157
直営店	969	23.3%	52	<b>1,088</b>	<b>24.6%</b>	<b>153</b>	+118	+101
FC店	849	20.4%	159	<b>920</b>	<b>20.8%</b>	<b>215</b>	+70	+55
<b>Webソリューション</b>	230	5.5%	49	<b>272</b>	<b>6.2%</b>	<b>89</b>	+41	+39
シルバーマーケティング	86	2.1%		<b>110</b>	<b>2.5%</b>		+24	
仕事と介護の両立支援	133	3.2%		<b>134</b>	<b>3.1%</b>		+1	
メディカル	10	0.2%		<b>26</b>	<b>0.6%</b>		+15	
<b>ケアサプライ</b>	843	20.2%	76	<b>853</b>	<b>19.3%</b>	<b>100</b>	+9	+24
<b>■在宅サービス事業</b>	1,274	30.6%	377	<b>1,287</b>	<b>29.1%</b>	<b>345</b>	+13	▲32
通所介護	445	10.7%	123	<b>448</b>	<b>10.1%</b>	<b>115</b>	+2	▲8
訪問介護	508	12.2%	182	<b>519</b>	<b>11.8%</b>	<b>169</b>	+10	▲12
居宅介護支援	320	7.7%	71	<b>320</b>	<b>7.2%</b>	<b>60</b>	+0	▲11
<b>調整額</b>	—	—	▲559	—	—	▲588	—	▲28
<b>合計</b>	4,168	100%	156	<b>4,421</b>	<b>100%</b>	<b>315</b>	+253	+159

# 2023年3月期 セグメント別業績見通しの進捗状況

(単位：百万円)	売上高	営業利益
<b>合計</b>	通期予想 4,421 2 Q実績 2,083 0% 25% 50% 75% 100%	通期予想 315 2 Q実績 35 0% 25% 50% 75% 100%
✓ 上期はコロナ第7波や先行投資など費用増加等の影響により進捗率が落ち込んだものの、下期にかけて2件のM&A実施により売上高・利益に貢献することを見込む		
<b>レコードブック (直営店)</b>	通期予想 1,088 2 Q実績 490 0% 25% 50% 75% 100%	通期予想 153 2 Q実績 30 0% 25% 50% 75% 100%
<b>レコードブック (FC店)</b>	通期予想 920 2 Q実績 430 0% 25% 50% 75% 100%	通期予想 215 2 Q実績 79 0% 25% 50% 75% 100%
<b>Web ソリューション</b>	通期予想 272 2 Q実績 103 0% 25% 50% 75% 100%	通期予想 89 2 Q実績 14 0% 25% 50% 75% 100%
<b>ケアサプライ</b>	通期予想 853 2 Q実績 420 0% 25% 50% 75% 100%	通期予想 100 2 Q実績 31 0% 25% 50% 75% 100%
<b>在宅サービス</b>	通期予想 1,287 2 Q実績 638 0% 25% 50% 75% 100%	通期予想 345 2 Q実績 143 0% 25% 50% 75% 100%

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部  
Email: [ir@iif.jp](mailto:ir@iif.jp)